

2025 年度 第Ⅰ回 理事会報告

開催日時:2025年5月24日(土)15:00~17:20

開催場所:(株)国際文献社パブリッシングセンター8階会議室(東京都新宿区山吹町332-6)/Zoom

I. 会長挨拶

定刻となり、和気純子会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

オンライン参加を含むハイブリッド形式の会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて和気会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2025年度第Ⅰ回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として和気会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第Ⅰ号議案 入会審査

総務担当金子(充)理事より、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、運営委員会による臨時審査で承認済みの57名を含めて88名より入会申請があり、推薦人2名のいない1名を除く87名の入会が満場一致で承認された。1名については、次回申請のために見送りとなった。

第Ⅱ号議案 長期会員審査

総務担当金子(充)理事より配付資料に基づき説明があった。再申請不要な1名を除く25名が長期会員として満場一致で承認された。長期会員が100名を超えるため、本制度に関するアンケートを実施し、次年度以降の参考とすることが報告された。

第Ⅲ号議案 2025年度予算案の変更について

財務担当杉山理事より、2024年度第6回理事会で承認された2025年度予算案からの変更点について、配付資料に基づき2024年度決算額の反映と地域ブロック助成金額の確定に伴う修正を行うとの説明があった。審議の結果、2025年度予算案の変更が満場一致で承認された。

第Ⅳ号議案 2024年度事業報告、決算報告および監査報告

総務担当金子(充)理事より、2024年度の各事業が滞りなく遂行された旨の報告があり、財務担当杉山理事より、法人全体および各事業における2024年度決算について、配付資料に基づき報告があった。また、大島監事および岡部監事より年4月25日に実施された監査について報告があった。

審議の結果、2024年度事業報告、決算報告および監査報告を5月25日に開催される2025年度定時社員総会に上程することが満場一致で承認された。監査では、予算額と決算額の乖離、特に特定資産対象事業の予算執行

率が 50%以下にとどまった点などが指摘され、PDCA サイクルを意識した事業運営を進めるよう検討要請があった。

第 5 号議案 2027 年度(第 75 回)秋季大会開催校または開催地域について

秋大会開催担当の地域ブロックのローテーションに基づき、2027 年度(第 75 回)秋季大会は東北地域ブロックが担当となり、2027 年 10 月 2 日(土)・3 日(日)に東北福祉大学仙台駅東口キャンパスにて開催予定であることが満場一致で承認された。

第 6 号議案 『社会福祉学事典』の二次使用について

丸善出版から 2014 年に刊行した『社会福祉学事典』の基礎編部分のみを抜き出した『エッセンシャル 社会福祉学事典—基礎編』としての廉価普及版の刊行企画は認められず、内容を改訂した第 2 版として新たに企画書を提出するよう依頼することが承認された。

第 7 号議案 日本学術会議法案に関する対応について

和気会長より日本学術会議法案をめぐる対応について説明があった。本学会が 4 月 23 日に日本学術会議による「日本学術会議法案の修正」決議と「声明」を支持する会長声明を発出したことが報告された。

第 8 号議案 『社会福祉学』J-Stage 閲覧のための認証パスワードの設定について

刊行から 1 年以内の機関誌の J-Stage 閲覧制限を 2025 年度も継続することが満場一致で承認された。なお、来年度からは即時公開が義務付けられるため、この措置は今年度で最後となる予定である。

第 9 号議案 中国・四国地域ブロック地域部会委員の変更について

中国・四国地域ブロック担当石井理事より、地域部会委員の変更について提案があり、満場一致で承認された。

第 10 号議案 その他(選挙スケジュール)について

総務担当金子(充)理事より、選挙スケジュールについて説明があり、例年通りのスケジュールで実施予定であることを確認し、満場一致で承認された。

IV. 報告事項

1. 2025 年度会員動向および 2024 年度退会者報告

総務担当金子(充)理事より、2024 年度の入会者数は 162 名、退会者数は 233 名と報告され、一時期よりやや緩やかになったものの会員数の減少傾向が依然継続していることが確認された。なお、2024 年度年会費納入率は 93.1%であった。

2. 2025 年度定時社員総会準備状況および当日の進行について

総務担当金子(充)理事より、総会当日の進行について配付資料に基づき説明があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当山田理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より配付資料に基づき、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。査読ガイドラインの改訂作業を進めていること、J-Stage での即時公開義務化への対応を検討する必要があることについて報告された。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の本郷副会長より、第 73 回秋季大会で開催予定の「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」や日中韓三か国協定に基づく中国・韓国社会福祉学会への情報提供と募集を行っていることについて報告があった。2025 年度韓国社会福祉学会が 10 月に開催予定であり、和気会長と本郷副会長が訪問予定である。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当今井理事より、2025 年度学会賞の審査は現在一次審査中との報告がなされた。

7. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当中村理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事より、学会ニュース 99 号が 7 月上旬発行予定で、100 号記念事業として入会希望者に配布するチラシを作成する予定であるとの報告があった。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、作業進捗状況等について配付資料に基づき報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当山野理事より、第 73 回秋季大会で開催予定の初期キャリア研究者研究交流会の準備状況、サロン企画の開催予定について報告があった。

11. 学会基本構想委員会からの報告

総務担当金子(充)理事より、現時点で報告事項はないとの報告があった。

12. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック:報告事項は特になし。
- ・東北地域ブロック:第 24 回研究大会を 7 月 27 日(日)に秋田県社会福祉会館にて開催予定であることなど、配布資料に基づき報告があった。
- ・関東地域ブロック:3 月 16 日に「AI と福祉」というテーマで関東地域ブロック研究大会を開催した。
- ・中部地域ブロック:5 月 18 日に春の研究例会として、自由研究発表、総会およびシンポジウムを開催した。
- ・関西地域ブロック:報告事項は特になし。
- ・中国四国地域ブロック:7 月 12 日に第 56 回愛媛大会を聖カタリナ大学にて開催予定である。
- ・九州地域ブロック:5 月 10 日に運営委員会を開催した。12 月 7 日、8 日に研究大会を開催する予定である。

13. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援（協賛）依頼について

総務担当金子（充）理事より、過年度の実績により 2 件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

宇都宮理事より、「災害福祉アーカイブ」にコロナ関連も情報を追加掲載したこと、加盟学会への補助を執行しており 2025 年度も継続する予定との報告があった。また、日本学術会議法案に関して 4 月 23 日に会長声明を発出した。5 月 25 日に立教大学池袋キャンパスにて総会を開催予定。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

所理事より、3 月 15 日に「学会の将来を考える」をテーマに公開シンポジウムを開催したとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

金子（充）理事より、日本学術会議法案に関連して対応を行った以外、大きな動きはなかったとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会：GEAHSS（ギース）

堅田理事より、3 月 16 日に第 8 回公開シンポジウムが開催されたとの報告があった。2025 年 10 月から本学会が幹事学会となるため、会費徴収等の業務について再度確認することとなった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

和気会長より、現在メーリングリストの管理を本学会事務局で行っているが、覚書を確認して 8 月末で引き継ぐ予定との報告があった。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

金子（光）副会長より、日本社会福祉系学会連合の会長は 5 月末でソ教連理事から外れることが報告された。

議長は、議事終了を告げ、17 時 20 分に理事会を解散した。

以上